

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年 6月18日(月)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年 6月18日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	3号機	燃料プール補給水系最小流量バイパス弁(A)において、中央制御室にて弁全開表示のところ、現場弁開度計が約96%開指示であることが認められたため、当該弁を点検・修理。	対象外	
2	3号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(A)において、伝熱管全3080本中、13本の残存肉厚に判定値外れが認められたため、当該伝熱管を点検・修理。	GⅢ	
3	3・4号廃棄物処理設備	固化系固化材供給ポンプにおいて、潤滑油液位計に汚れがあり、液位が確認しづらいことが認められたため、当該液位計を交換。	対象外	